

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 30 日(2024.8.30)

【公開番号】特開 2024-105355(P2024-105355A)
【公開日】令和 6 年 8 月 6 日(2024.8.6)
【年通号数】公開公報(特許)2024-146
【出願番号】特願 2024-71628(P2024-71628)
【国際特許分類】

G 0 1 N 33/543(2006.01)

10

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 7 5

G 0 1 N 33/543 5 4 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 22 日(2024.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) 2 - ジブチルアミノエタノール(D B A E)、(i i) p H 緩衝構成成分、および(i i i) イオン性構成成分、を含む、組成物。

【請求項 2】

(i) 2 - ジブチルアミノエタノール(D B A E)、(i i) p H 緩衝構成成分、および(i i i) イオン性構成成分、から本質的になる、組成物。

【請求項 3】

(i) 2 - ジブチルアミノエタノール(D B A E)、(i i) p H 緩衝構成成分、および(i i i) イオン性構成成分、からなる、組成物。

30

【請求項 4】

前記 D B A E の濃度が、約 1 0 0 m M ~ 約 1 5 0 m M である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】

前記 p H 緩衝構成成分が、リン酸塩でない、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

前記 p H 緩衝構成成分が、トリスであり、前記組成物が、界面活性剤を更に含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

前記界面活性剤が、T R I T O N X - 1 0 0 である、請求項 6 に記載の組成物。

40

【請求項 8】

前記界面活性剤が、K O L L I P H O R P - 4 0 7、P L U R O N I C P - 1 2 3、P L U R O N I C L - 1 2 1、P L U R O N I C 3 1 R 1、T E T R O N I C 7 0 1、2、4、7、9 - テトラメチル - d - デシン - 4、7 - ジオールエトキシレート、P E G (1 8) トリデシルエーテル、B R I J L 4、B R I J 5 8、または T W E E N 2 0 である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記イオン性構成成分が、塩化物イオンを含む、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

50

【請求項 10】

前記組成物が、約 0.3 M 超のイオン強度を有する、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

1 つ以上の容器に、以下の材料、

- (a) 2 - ジブチルアミノエタノール (DBAE) と、
- (b) pH 緩衝構成成分と、
- (c) イオン性構成成分と、を含む、キット。

【請求項 12】

組成物を生成するための方法であって、

10

- (i) 2 - ジブチルアミノエタノール (DBAE) と、
- (ii) pH 緩衝構成成分と、
- (iii) イオン性構成成分と、を組み合わせることを含む、方法。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物、又は請求項 11 に記載のキットと、

- (a) アッセイ機器、
- (b) アッセイ消耗品、
- (c) 追加のアッセイ試薬、
- (d) アッセイ試料、

またはそれらの組み合わせと、を含む、キット。

20

【請求項 14】

ECL を生成するための方法であって、

- (a) 電極を、
- (i) 請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物、および
- (ii) ECL 標識と接触させることと、
- (b) 前記電極に電圧を印加することと、
- (c) ECL を生成することと、を含む、方法。

【請求項 15】

ECL 標識の量を測定するための方法であって、

30

- (a) 電極を、
- (i) 請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物、および
- (ii) 前記 ECL 標識と接触させることと、
- (b) 前記電極に電圧を印加することと、
- (c) ECL を生成することと、
- (d) 前記 ECL を測定することと、
- (e) 前記測定された ECL から、前記標識の前記量を決定することと、を含む、方法。

【請求項 16】

ECL 標識に連結された結合試薬を含む結合錯体の量を測定するための方法であって、

40

- (a) 電極上に固定化された結合試薬を、ECL 標識を含む標識された結合試薬と接触させることと、
- (b) 前記固定化された結合試薬および前記標識された結合試薬を含む前記電極上に結合錯体を形成することと、
- (c) 前記電極上の前記結合錯体を、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物と接触させることと、
- (d) 前記組成物の存在下で前記電極に電圧を印加することと、
- (e) ECL を生成することと、
- (f) 前記 ECL を測定して、前記電極上の前記結合錯体の前記量を決定することと、を含む、方法。

【請求項 17】

50

E C L 標識に連結された結合試薬を含む結合錯体の量を測定するための方法であって、
(a) 粒子上に固定化された結合試薬を、E C L 標識を含む標識された結合試薬と接触させることと、
(b) 前記固定化された結合試薬および前記標識された結合試薬を含む前記粒子上に結合錯体を形成することと、
(c) 前記粒子上の前記結合錯体を、請求項 1 ~ 1 0 のいずれかに記載の組成物と接触させることと、
(d) 電極上に前記粒子を収集することと、
(e) 前記組成物の存在下で前記電極に電圧を印加することと、
(f) E C L を生成することと、
(g) 前記 E C L を測定して、前記電極上の前記結合錯体の前記量を決定することと、を含む、方法。

10

【請求項 1 8】

分析物の量を測定するための方法であって、
(a) 電極上に固定化された結合試薬を、E C L 標識を含む標識された結合試薬および前記分析物（または前記分析物を含む試料）と接触させることと、
(b) 前記固定化された結合試薬および前記標識された結合試薬を含む前記電極上に結合錯体を形成することと、
(c) 前記電極上の前記結合錯体を、請求項 1 ~ 1 0 のいずれかに記載の組成物と接触させることと、
(d) 前記組成物の存在下で前記電極に電圧を印加することと、
(e) E C L を生成することと、
(f) 前記 E C L を測定して、前記分析物の前記量を決定することと、を含む、方法。

20

【請求項 1 9】

分析物の量を測定するための方法であって、
(a) 粒子上に固定化された結合試薬を、E C L 標識を含む標識された結合試薬および分析物（または前記分析物を含む試料）と接触させることと、
(b) 前記固定化された結合試薬および前記標識された結合試薬を含む前記粒子上に結合錯体を形成することと、
(c) 前記粒子上の前記結合錯体を、請求項 1 ~ 1 0 のいずれかに記載の組成物と接触させることと、
(d) 電極上に前記粒子を収集することと、
(e) 前記組成物の存在下で前記電極に電圧を印加することと、
(f) E C L を生成することと、
(g) 前記 E C L を測定して、前記分析物の前記量を決定することと、を含む、方法。

30

【請求項 2 0】

(i) 2 - ジブチルアミノエタノール (D B A E)、(i i) p H 緩衝構成成分、(i i i) イオン性構成成分、及び(i v) 界面活性剤を含む、組成物であって、
前記 D B A E の濃度が、約 1 0 0 m M ~ 約 1 5 0 m M であり、
前記 p H 緩衝構成成分が、リン酸塩でない、組成物。

40